

東播磨・北播磨地域

多面的機能保全 向上活動発表会

令和
6年度

令和7年2月13日(木) 13時30分～16時00分
三木市文化会館 大ホール



主催
共催

兵庫県東播磨県民局・北播磨県民局
兵庫県多面的機能発揮推進協議会 管内各市町

プログラム

優良地区の表彰 13:30~

最優秀賞

原地域づくり協議会：加古川市
中安田環境保全ネットワーク：多可町

優秀賞

松陰ため池協議会：明石市
上戸田保全隊：西脇市
小二谷地区協議会：三木市

事例発表 14:15~

原地域づくり協議会（加古川市）
中安田環境保全ネットワーク（多可町）

… 休憩 … (15:00~15:10)

特別講演 15:10~

『新しい解決方法で 農村地域の課題に挑む！』
兵庫県立大学 助教 柴崎 浩平 氏



【講師プロフィール】

大学助教の傍ら、2022年よりため池みらい研究所の理事を務める。そこで地域が様々な変化に順応する能力（レジリエンス）を高めることを目的に活動する。東播磨地域にて有志を募り結成した草刈り隊「播磨畦師」や、大学生と地域住民が協力したため池に関する地域問題の解決策を考える「ため池アクション」等の活動を企画・実施する。

今回の講演では、その活動実績より事例をあげながら、地域の課題に対する向き合い方や今後の活動のヒントについて提案・助言する。



はら 原地域づくり協議会

(加古川市志方町原)

「自分たちの地域は自分たちで守り、
持続可能な地域社会を作る」



カヌー体験イベント

センチピードグラスを活用した畦畔管理省力化に取り組んでいます。

また、原大池にて地元小学生を対象に、志方西地区が一体となってカヌー体験イベントを開催し、ため池の大切さを学ぶとともに、地域内外との交流を図っています。

【農地・農業用水等の適切な保全管理】



水路の泥上げ



水路の軽微な補修



畦畔管理省力化



イノシシ防護柵定期点検

【活力ある地域づくり】

地元小学生を対象にカヌー体験を通じてため池の「大切さ・魅力・安全」と「冒険心・仲間意識・ふる里への思い」を培うとともに、ため池を身近な水辺として親しみ、地域内外と交流を深めています。また、草刈隊を結成し、放棄田の解消に取り組んでいます。



カヌー体験



草刈隊結成

【環境創造型農業の推進】

ヘアリーベッチ及びレンゲによる緑肥栽培を実施しています。また、春には地元のこども園児及び小学校低学年を対象にレンゲ摘み体験を行っています。



緑肥栽培兼レンゲ摘み体験

次代につなぐために

原地区では、令和3年に農家を対象とした農地利用の意向アンケート調査を実施しました。

その結果、「高齢化で農業の継続が困難」と「近い将来農業を辞めたい」との意向が、約半分を占めていることが明らかになりました。このため「新たな担い手探し」として、①地域の中心経営体となる法人又は大規模農家、②認定農業者（例：トマトハウス栽培等）又は新規就農者の受け入れ促進等に取り組んでいます。

そして将来、イベント等を通してふる里げんたいけんを原体験してくれた子ども達が、地域を担ってくれることを期待しています。



なかやすだ

中安田環境保全ネットワーク

(多可町中区中安田)

「地域農業の未来設計図」



アーム式草刈機(草刈りの省力化)

多可町の他集落に先駆けて令和6年3月に地域計画を策定しました。また、集落営農組織を法人化(R6.8月設立)し、集落全体で適切な農地の有効利用を進めています。保全活動では、アーム式草刈機を購入するなど、草刈りの省力化を図っています。

【農地・農業用水等の適切な保全管理】



水路の草刈り・泥上げ



ため池堰堤草刈り



鳥獣防護柵の点検・補修



植栽等の景観形成

【活力ある地域づくり】

集落では子ども会や老人クラブなど様々な世代が交流する「さくらまつり」や「とんど祭り」、自主防災組織による防災研修会や避難訓練を開催し、多様な団体が参画する活力ある地域づくりを行っています。



とんど祭り



防災研修会

【環境創造型農業の推進】

環境にやさしい農業を目指し、化学肥料・化学農薬を5割低減し、レンゲの緑肥や有機資材(堆肥)により水稻や黒大豆を栽培しています。



緑肥(レンゲ)



堆肥の散布

次代につなぐために

現状では耕作者の半数が70代以上であり、今後高齢化が加速する中でますます離農者が増えることにより、遊休農地の発生が懸念されています。そのため、農家のみならず地域全体で地域農業を守り続ける仕組みを構築することが必要となっています。そこで農作業の効率化・省力化を図るため、ドローンやラジコン草刈機などのスマート農業の導入を進めるとともに、地域の特産である黒大豆について水稻からの転作を実施し農地を有効活用します。

また、集落営農組織を法人化し、離農者農地の受け皿になるとともに、集落内の若年層を積極的に取り込むことで後継者の育成を図ります。



まつかけ 松陰ため池協議会

(明石市大久保町松陰)

「地域とともに守ろう松陰の農地・ため池」



かいぼり

大久保町松陰地区には、8か所のため池があり、その多くが市街化区域と隣接していることから、地域住民を対象にサツマイモやトウモロコシの苗植え・収穫、小学生を対象とした田植え・稲の収穫による地域交流を積極的に行っています。また、漁業団体と協力してかいぼりを行い、ため池の栄養塩を海へ流す取り組みを行っています。

【農地・農業用水等の適切な保安全管理】



ため池の草刈り



水路の草刈り



竹・木の伐採



会所桝の補修

【活力ある地域づくり】

地元小学生の環境学習として、米作りの体験学習を行うとともに、地域住民全員を対象とした、サツマイモやトウモロコシの苗植え・収穫体験を行っています。



体験学習（田植え）



体験学習（稲の収穫）



サツマイモの苗植え



サツマイモの収穫



トウモロコシの収穫

次代につなぐために

都市化が進む中、農地、ため池などの農村環境、風景を守るには地域住民の協力が不可欠であることから、ため池を核としたイベントや、地元小学生を対象とした米作り体験学習等の地域交流を積極的に行っています。この取り組みにより、農業者、非農業者で役割分担して、これらの保全に努めていきます。

また、農業施設の維持管理等については地域の管理体制と実情を踏まえた上で、行政とともに検討し、適正管理するための体制作りを推進していきます。



かみとだ 上戸田保全隊

(西脇市上戸田)

「チャレンジ精神No.1 ～小規模隊の行動力～」



センチピードグラスに着手
～草刈りの省力化へ～

上戸田保全隊は、西脇市内において比較的少ない構成員で活動している組織です。その特徴を機動力という強みに変えて、市内では初めてセンチピードグラス施工に挑戦しています。

その他にもマルチメンテシートを活用した直営施工や、田んぼダムの導入、地元園児との農業体験教室など、その行動力で活動の省力化や、地元の安全、農業の継承に寄与しています。

【農地・農業用水等の適切な安全管理】



点検・機能診断



農道の草刈り



水路の泥上げ



セキ板設置

【活力ある地域づくり】

農村環境保全活動啓発のため、地元こども園の園児・父兄と「田植えから収穫まで」の農業体験教室を毎年開催しています。

また集落全体で年に数回、クリーン活動を実施し、農地周辺環境を整備しています。



農業体験教室



クリーン活動

【環境創造型農業の推進】

草刈り作業の省力化を目標にセンチピードグラスを導入中で、農作物や環境に配慮した除草作業を推進しています。さらに、導入範囲の拡大にチャレンジ予定です。



センチピードグラス施工

次代につなぐために

上戸田保全隊は、構成員15人と小規模隊ながら活動は多岐に渡ります。

ただ、活動組織の高齢化も深刻な問題です。後継者不足の取組として、集落住民へ保全隊のPR活動を展開しています。一例として、地元の子どもやその家族に対して、農業への理解を深めてもらう農業体験教室（田植えから収穫まで全般）を開催しており、次世代への継承に力を入れています。また、新たな取組として、集落外の女性たちに遊休農地を活用（柿・スイカ・生花の栽培）してもらうことにより、新たな地域コミュニティづくりの役割も担っています。



こふただに
小二谷地区協議会
 (三木市細川町瑞穂小二谷)
 「良い酒米を小二谷から」



環境保全活動参加の構成員

三木市は稲作に適した気候と土を有していることから、かつてから日本酒の原料である「山田錦」の生産が盛んであり、地域の誇りです。良い酒米をこれからも生産するため、農地の適切な保全管理に心がけています。また、農村文化の継承を大切にし、地域ぐるみで農業の保全活動に取り組んでいます。

【農地・農業用水等の適切な保全管理】



農道の草刈り



水路の泥上げ



法面の草刈り



遊休農地発生防止

【活力ある地域づくり】

農村文化の継承として執り行っている「八日祭り」や五穀豊穡を祈念した「奉納子ども相撲」などの伝統的な祭礼や地域の環境保全活動には、婦人会、消防団、子ども達なども参加し、コミュニティの結束を高めながら、自治会全体で村づくりに取り組んでいます。



八日祭り



しめ縄づくり体験会

【環境創造型農業の推進】

農業施設の維持において、伝統的な管理も継続しながら、センチピートグラスの活用を検討するなど、新たな技術を試行し、草刈り等の省力化や農薬の低減に繋がられるよう、持続可能な農業生産にかかる取組を実施しています。



伝統的な管理（野焼き）



綺麗な畦畔の維持

次代につなぐために

小二谷地区では、これからも山田錦生産とともに美しい農村風景、農村文化を残していくため、農業の省力化について最新の情報を取り入れながら積極的に活動していきます。また、鳥獣害の被害もあるため、被害の現状把握と対策について話し合います。さらに、地域の伝統的な農法なども引き継いでいけるよう、新規就農者や農業に興味のある若い方に向けて農業体験などを実施していきます。地域の次代の農業を守るため、地域農業のあり方を地域ぐるみで話し合い、ハード面とソフト面の両側からできることを考えながら力を合わせて取り組んでいきます。

